Windows 用 Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバ インストール ガイド

初版：2011 年 09 月 06 日

最終更新：2015 年 09 月 01 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

Text Part Number: OL-31139-01-J

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（**www.cisco.com/jp/go/safety_warning/**）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system.All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries.To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: http://www.cisco.com/go/trademarks.Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners.The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(1110R)

© 2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

目 次

はじめに v

マニュアルの構成 v

このリリースの新規情報および変更情報 vi

Cisco UCS の関連ドキュメント vi

マニュアルに関するフィードバック vii

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート vii

概要 1

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバの概要 1

サポート対象ハードウェアおよびソフトウェア 2

Cisco UCS VIC ドライバのダウンロードとインストール 3

Cisco UCS VIC ドライバのダウンロード 3

ISO イメージ バンドルの入手 3

Cisco UCS VIC ドライバのインストール 4

インストール方法 4

OS インストール（Windows 2012 および 2012 R2）中の Windows ドライバ インストール 5

OS インストール（Windows 2008 SP2、および R2）中の Windows ドライバ インストール 6

OS インストール（Windows 2008-R2）後の Windows ドライバ インストール 7

OS インストール（Windows 2008 SP2）後の Windows ドライバ インストール 8

既存の Windows ドライバの更新（Windows 2012 および 2012 R2） 9

既存の Windows ドライバの更新（Windows 2008 SP2 および R2） 10

Windows での Cisco UCS VIC ドライバのアップグレード 12

NIC チーミング ドライバのインストール 12

Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバについて 12

Windows 用 NIC チーミング ドライバの取得 13

コントロール パネルからの NIC チーミング ドライバのインストール 14
コマンド プロンプトからの NIC チーミング ドライバのインストール 14
enictool.exe を使用した NIC チーミング ドライバの設定 15
iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのインストール 15
sNIC ドライバの初回インストール 16
既存の sNIC ドライバのアップグレード 17
Cisco UCS VIC ドライバのアンインストール 19
Windows ドライバのアンインストール 19
NIC チーミング ドライバのアンインストール 20
iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのアンインストール 20
sNIC ドライバのロールバック 21
sNIC ドライバの削除 21

はじめに

この前書きは、次の項で構成されています。

- マニュアルの構成，v ページ
- このリリースの新規情報および変更情報，vi ページ
- Cisco UCS の関連ドキュメント，vi ページ
- マニュアルに関するフィードバック，vii ページ
- マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート，vii ページ

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	タイトル	説明
第 1 章	概要	Cisco UCS VIC ドライバの概要について説明します。
第 2 章	Cisco UCS VIC ドライバのダウンロードとインストール	Cisco UCS VIC ドライバを入手してインストールする方法に関する情報が含まれています。
第 3 章	Cisco UCS VIC ドライバのアンインストール	Cisco UCS VIC ドライバのアンインストールについての情報が含まれます。

このリリースの新規情報および変更情報

次の表は、この最新リリースに関するマニュアルでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースに関するこのガイドの変更点や新機能の中には一部、この表に記載されていないものもあります。このリリースで新しくサポートされるハードウェアの詳細については、『Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap』で利用可能な『*Release Notes for Cisco UCS Software*』を参照してください。

表 *1*：新機能

機能	説明	参照先
NIC チーミング ドライバ	ハイアベイラビリティとロードバランシングのために複数の NIC のチーミング（ボンディング）が可能です。	Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバについて，（12 ページ）
新しい Cisco UCS VIC ドライバ インストール ガイド	Cisco UCS VIC ドライバのプラットフォーム固有のインストール ガイド。	『*Windows 用 Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバ インストール ガイド*』

Cisco UCS の関連ドキュメント

ドキュメント ロードマップ

すべての B シリーズ マニュアルの完全なリストについては、http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc で入手可能な『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

すべての C シリーズ マニュアルの一覧については、http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/c-series-doc で入手できる『*Cisco UCS C-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

管理用の UCS Manager と統合されたラック サーバでサポートされるファームウェア バージョンとサポートされる UCS Manager バージョンについては、『Release Bundle Contents for Cisco UCS Software』を参照してください。

その他のマニュアル リソース

ドキュメントの更新通知を受け取るには、Cisco UCS Docs on Twitter をフォローしてください。

マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、ucs-docfeedback@external.cisco.com までコメントをお送りください。ご協力をよろしくお願いいたします。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

ドキュメントの更新通知を受け取るには、Cisco UCS Docs on Twitter をフォローしてください。

第 1 章

概要

この章は、次の項で構成されています。

- Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバの概要，1 ページ
- サポート対象ハードウェアおよびソフトウェア，2 ページ

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバの概要

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード（VIC）ドライバは、サポートされるオペレーティング システムと Cisco UCS 仮想インターフェイス カード（VIC）との間の通信を容易にします。

Cisco UCS VIC ドライバ ISO バンドルには、eNIC ドライバと fNIC ドライバが含まれます。eNIC は Cisco UCS VIC イーサネット NIC 用のドライバです。fNIC はイーサネット HBA 上の Cisco UCS VIC ファイバ チャネル用のドライバです。

（注） fNIC は Cisco UCS Manager リリース 2.5 ではサポートされていません。

Windows の場合、サーバが Microsoft iSCSI イニシエータを使用してシスコ VIC イーサネット インターフェイスから起動されたときの Windows のクラッシュ ダンプをサポートする iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバも ISO バンドルに含まれています。

Cisco UCS Manager リリース 2.5 では Cisco UCS M シリーズ サーバが導入されましたが、引き続き vNIC 機能を提供します。また、仮想共有ローカル ストレージにより新しい機能が提供されます。この仮想ストレージ コントローラは、シャーシ内の共有ストレージ コントローラとハード ドライブを通してサーバに提供される仮想ドライブへのアクセスを可能にします。仮想ストレージ コントローラは、SCSI NIC（sNIC）と呼ばれる、OS に提示される新しい PCIe デバイスを導入します。OS はこれらのアイテムをローカル接続された SCSI デバイスとみなします。

sNIC は、サーバから仮想ドライブへの SCSI コマンドの経路を提供します。このコントローラは、OS にとって新しいデバイスであり、OS にロードされる sNIC ドライバを使用します。sNIC は新しい PCIe デバイスであるため、一部の OS ディストリビューションには sNIC ドライバが含まれていないことがあります。その場合は、サーバのストレージ デバイスを認識するため、OS のイ

ンストール時に sNIC ドライバをロードする必要があります。sNIC ドライバは、eNIC ドライバや fNIC ドライバと同様に、OS ベンダーにより認定され、最終的にコア OS インストール パッケージに収容されます。ドライバが存在する場合、OS は仮想ドライブを認識し、仮想ドライブは RAID コントローラを介して接続している標準ハード ドライブとして提示されます。

サポート対象ハードウェアおよびソフトウェア

サポートされているハードウェアおよびソフトウェアの完全なリストについては、次の URL にあるこのリリースの『*Hardware and Software Interoperability Matrix*』を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html

第 2 章

Cisco UCS VIC ドライバのダウンロードとインストール

この章の内容は、次のとおりです。

- Cisco UCS VIC ドライバのダウンロード，3 ページ
- Cisco UCS VIC ドライバのインストール，4 ページ
- sNIC ドライバの初回インストール，16 ページ
- 既存の sNIC ドライバのアップグレード，17 ページ

Cisco UCS VIC ドライバのダウンロード

ISO イメージ バンドルの入手

この手順では、UCS ドライバ ISO バンドルをダウンロードする方法について説明します。このバンドルにはほとんどの Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバが含まれています。場合によっては、ドライバのインストール手順に注記された別のバンドルにドライバがある場合があります。

手順

ステップ 1 Web ブラウザで、http://www.cisco.comを開きます。

ステップ 2 [Support] で [All Downloads] をクリックします。

ステップ 3 製品選択で [Products] をクリックし、さらに [Servers - Unified Computing] をクリックします。

ステップ 4 入力を求められたら、Cisco.com のユーザ名およびパスワードを入力して、ログインします。Unified Computing System（UCS）ドライバをダウンロードするには、サインインする必要があります。

ステップ 5 サーバを選択します。
Cisco UCS ドライバは、Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバ ソフトウェア、Cisco UCS C シリーズ ラックマウント UCS 管理サーバ ソフトウェア、および Cisco UCS M シリーズ モジュラ サーバ ソフトウェアに使用できます。

ステップ 6 [Unified Computing System (UCS) Drivers] をクリックします。

ステップ 7 [Release Notes] リンクをクリックして、リリース ノートの最新バージョンを表示します。

ステップ 8 ダウンロードする各ドライバ ISO に対して、次の作業を行います。

a) ダウンロードするリリースのリンクをクリックします。
デフォルトでは最新のリリース バージョンが選択されます。

b) ダウンロード方式を選択し、ドライバのダウンロードを実行します。プロンプトに従います。

Download

ソフトウェアを即時ダウンロードします。

Add to Cart

後でダウンロードするドライバ ISO をカートに追加します。

次の作業

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバをインストールする前にリリース ノートをお読みください。

Cisco UCS VIC ドライバのインストール

インストール方法

Windows 用の Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバの場合、次のようにインストールできます。

- Windows OS の新規インストール時。
- OS のインストール後、デバイス マネージャを使用して。

Cisco UCS 仮想インターフェイス カード ドライバ をインストールし、更新するために管理者権限が必要となります。

（注） システム クラッシュを避けるため、まずインフラストラクチャ ファームウェア（UCS Manager を含む）、ファブリック インターコネクト、およびシャーシ I/O モジュールをアップグレードする必要があります。

OS インストール（Windows 2012 および 2012 R2）中の Windows ドライバ インストール

LUN に Windows をインストールする場合は、OS のインストール中に Windows 用 Cisco VIC ドライバをインストールする必要があります。OS のインストール時にドライバを提供しない場合、システムは LUN を検出できません。

Cisco UCS M シリーズを除き、Windows をローカル ハードディスクにインストールする場合、OS のインストール中のドライバのインストールは不要です。OS のインストールが完了した後でドライバをインストールできます。

Cisco UCS M シリーズで Windows をローカル ハード ディスクにインストールするには、OS のインストール中に VIC ドライバをインストールする必要があります。

注意 ドライバのインストール ファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

Windows 2012 および 2012 R2 の OS のインストール時には、Windows ドライバをインストールするための以下のベスト プラクティスに従ってください。ドライバをアップグレードする前に、次の順序でインフラストラクチャをアップグレードする必要があります。

- インフラストラクチャ ファームウェア（UCS Manager を含む）、ファブリック インターコネクト、およびシャーシ I/O モジュールをアップグレードします。
- サーバやアダプタのファームウェアをアップグレードします。
- OS VIC ドライバをアップグレードします。

注意 適切なアップグレード手順に従わない場合、サーバがクラッシュする恐れがあります。

手順

ステップ 1 インストール DVD または仮想メディアを使用して Windows のインストールを開始します。

ステップ 2 [Where do you want to install Windows] 画面で、[Load Driver] をクリックします。

ステップ 3 ドライバを参照し、[OK] をクリックします。ドライバは [Select the drive to be installed] ウィンドウに表示されます。

ステップ 4 正しいドライバが [Select the drive to be installed] 画面に表示されているのを確認し、[Next] をクリックします。

ステップ 5 LUN への Windows のインストールを継続するか、LUN を [Where do you want to install Windows?] 画面で選択します。

OS インストール（Windows 2008 SP2、および R2）中の Windows ドライバ インストール

SAN LUN に Windows をインストールする場合は、OS のインストール中に Windows 用 Cisco VIC ドライバをインストールする必要があります。OS のインストール時にドライバを提供しない場合、システムは SAN LUN を検出できません。

Windows をローカル ハード ディスクにインストールしている場合、OS のインストール中のドライバのインストールは不要です。OS のインストールが完了した後でドライバをインストールできます。

注意 ドライバのインストール ファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

Windows 2008 および 2008 R2 の OS のインストール時には、Windows ドライバをインストールするための以下のベスト プラクティスに従ってください。ドライバをアップグレードする前に、次の順序でインフラストラクチャをアップグレードする必要があります。

- インフラストラクチャ ファームウェア（UCS Manager を含む）、ファブリック インターコネクト、およびシャーシ I/O モジュールをアップグレードします。

  サーバやアダプタのファームウェアをアップグレードします。

  OS VIC ドライバをアップグレードします。

次のホットフィックスが連続的にインストールされていない場合は、eNIC ドライバと fNIC ドライバをアップグレードすると Windows 2008 がクラッシュします。

1. KB2990941
2. KB2511962
3. KB2754704

（注） 3 つすべてのホットフィックスがインストールされるまでリブートしないでください。

これらのホットフィックスがインストールされていないと、デバイス ドライバは重要なデバイスとして正しく登録されず、アップグレード中にクラッシュしてしまいます。

手順

ステップ 1 インストール DVD または仮想メディアを使用して Windows のインストールを開始します。

ステップ 2 [Where do you want to install Windows] 画面で、[Load Driver] をクリックします。

ステップ 3 ドライバを参照し、[OK] をクリックします。ドライバは [Select the drive to be installed] ウィンドウに表示されます。

ステップ 4 正しいドライバが [Select the drive to be installed] 画面に表示されているのを確認し、[Next] をクリックします。

ステップ 5 SAN LUN への Windows のインストールを継続するか、SAN LUN を [Where do you want to install Windows?] 画面で選択します。

OS インストール（Windows 2008-R2）後の Windows ドライバ インストール

注意 ドライバのインストール ファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

（注） Windows 2012 および Windows 2012 R2 と同じ手順に従います。

手順

ステップ 1 Windows は新しくインストールされたファイバチャネルまたはイーサネットデバイスを検出し、[Device driver software was not successfully installed] メッセージが表示されます。

ステップ 2 イーサネットまたはファイバチャネルデバイスを右クリックし、[Update driver software] を選択します。

ステップ 3 [Browse my computer for driver software] をクリックします。

ステップ 4 [Let me pick from a list of device drivers on my computer] をクリックします。

ステップ 5 [Select your drivers type from the list below] ウィンドウで、[Show All Devices] を選択したまま [Next] をクリックします。

ステップ 6 [Select the device driver you want to install for this hardware] ウィンドウで、[Have Disk] をクリックします。

ステップ 7 [Install from Disk] ウィンドウで、[Browse] でドライバを参照し [OK] をクリックします。

ステップ 8 [Select the device driver you want to install for this hardware] 画面で [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Close] をクリックしてウィザードを終了します。

ステップ 10 Windows が SAN ブートに続いて次のメッセージを表示した場合、[Yes] をクリックしてコンピュータをすぐに再起動します。

```
System Settings Change.Windows has finished installing a new device.The software that
supports your device requires that you restart your computer.You must restart your computer
before the new settings will take effect.Do you want to restart your computer now?
```

OS インストール（Windows 2008 SP2）後の Windows ドライバ インストール

注意 ドライバのインストール ファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

手順

ステップ 1 Windows が新しくインストールされたファイバ チャネルまたはイーサネット デバイスを検出し [Found New Hardware] ウィザードが表示された場合、[Locate and install driver software (recommended)] をクリックします。

ステップ 2 ディスクを挿入するように求められた場合、[I don't have the disc. Show me other options] をクリックします。

ステップ 3 [Browse my computer for driver software (advanced)] をクリックします。

ステップ 4 ドライバをブラウズし、[Next] をクリックします。

ステップ 5 [Would you like to install this device software?] ウィンドウで、[Install] をクリックします。

ステップ 6 [Close] を 2 回クリックして、ドライバ ソフトウェアのインストールを完了します。

ステップ 7 Windows が SAN ブートに続いて次のメッセージを表示した場合、[Yes] をクリックしてコンピュータをすぐに再起動します。

```
System Settings Change.Windows has finished installing a new device.The software that
supports your device requires that you restart your computer.You must restart your computer
before the new settings will take effect.Do you want to restart your computer now?
```

既存の Windows ドライバの更新（Windows 2012 および 2012 R2）

注意 ドライバのインストール ファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

この項の手順に従って、既存の Windows ドライバを更新します。Cisco VIO インストーラを使用してドライバをアップグレードすることもできます。必要なリリースの各ドライバ ISO をダウンロードし、そのファイルの場所から MSI インストーラを使用します。次に、リリース固有のパスの例を示します。

- `Windows/Installers/Cisco/MLOM/W2K12/x64/`
- `Windows/Installers/Cisco/MLOM/W2K12R2/x64/`

Windows 2012 と 2012 R2 の各種のバージョンおよびエディションで VIC ドライバをインストールおよびアップグレードするには、Cisco VIO インストーラを使用します。Cisco VIO インストーラの詳細は、README ファイルを参照してください。

Windows 2012 および 2012 R2 の OS のインストール時には、Windows ドライバをインストールするための以下のベスト プラクティスに従ってください。

（注） ドライバをアップグレードする前に、次の順序でインフラストラクチャをアップグレードする必要があります。

- インフラストラクチャ ファームウェア（UCS Manager を含む）、ファブリック インターコネクト、およびシャーシ I/O モジュールをアップグレードします。
- サーバやアダプタのファームウェアをアップグレードします。
- OS VIC ドライバをアップグレードします。

注意 適切なアップグレード手順に従わない場合、サーバがクラッシュする恐れがあります。

手順

ステップ 1 デバイス マネージャを起動します。

a) [My Computer] を右クリックします。
b) [Manage] を選択します。
c) [Device Manager] を選択します。

ステップ 2 アダプタを展開します。

- eNIC ドライバでは、[Network Adapters] を展開します。
- fNIC ドライバについては、[Storage Controllers] を展開します。

ステップ 3 [Devices] リストで、アダプタを右クリックして [Update Driver Software] を選択します。[Update Driver Software] ウィンドウが開きます。

ステップ 4 [How do you want to search for driver software?] 領域で、[Browse my computer for driver software] を選択します。

ステップ 5 アダプタを選択し、[Next] をクリックします。

ステップ 6 [Install from Disk] ウィンドウで、ドライバ ファイルを参照し、[OK] をクリックします。

ステップ 7 [restart] ポップアップの [OK] をクリックしてサーバを再起動します。

既存の Windows ドライバの更新（Windows 2008 SP2 および R2）

注意 ドライバのインストール ファイルはシステム ディスク ドライバのタイムアウト値など特定のレジストリ エントリを変更します。ドライバを削除しても、これらの値は復元されません。

この項の手順に従って、既存の Windows ドライバを更新します。Cisco VIO インストーラを使用してドライバをアップグレードすることもできます。必要なリリースの各ドライバ ISO をダウンロードし、そのファイルの場所から MSI インストーラを使用します。次に、Windows 2008 R2 リリースのパスの例を示します。

- `Windows/Installers/Cisco/MLOM/W2K8R2/x64/`

Windows 2008 と 2008 R2 の各種のバージョンおよびエディションで VIC ドライバをインストールおよびアップグレードするには、Cisco VIO インストーラを使用します。Cisco VIO インストーラの詳細は、README ファイルを参照してください。

Windows 2008 および 2008 R2 の OS のインストール時には、Windows ドライバをインストールするための以下のベスト プラクティスに従ってください。

（注） ドライバをアップグレードする前に、次の順序でインフラストラクチャをアップグレードする必要があります。

- インフラストラクチャ ファームウェア（UCS Manager を含む）、ファブリック インターコネクト、およびシャーシ I/O モジュールをアップグレードします。
- サーバやアダプタのファームウェアをアップグレードします。
- OS VIC ドライバをアップグレードします。

注意 適切なアップグレード手順に従わない場合、サーバがクラッシュする恐れがあります。

手順

ステップ 1 デバイス マネージャを起動します。

a) [My Computer] を右クリックします。
b) [Manage] を選択します。
c) [Device Manager] を選択します。

ステップ 2 アダプタを展開します。

- eNIC ドライバでは、[Network Adapters] を展開します。
- fNIC ドライバについては、[Storage Controllers] を展開します。

ステップ 3 [Devices] リストで、アダプタを右クリックして [Update Driver Software] を選択します。

[Update Driver Software] ウィンドウが開きます。

ステップ 4 [How do you want to search for driver software?] 領域で、[Browse my computer for driver software] を選択します。

ステップ 5 アダプタを選択し、[Next] をクリックします。

ステップ 6 [Install from Disk] ウィンドウで、ドライバ ファイルを参照し、[OK] をクリックします。

ステップ 7 [restart] ポップアップの [OK] をクリックしてサーバを再起動します。

Windows での Cisco UCS VIC ドライバのアップグレード

Cisco VIO インストーラを使用して、Windows 2008、2008 R2、2012、2012 R2 の各種のバージョンおよびエディションに VIC ドライバをインストールおよびアップグレードすることができます。Cisco VIO インストーラは、Cisco UCS ドライバ ISO バンドルに含まれます。

NIC チーミング ドライバのインストール

Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバについて

Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバは Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2 64 ビットでサポートされています。ドライバは Windows のコントロール パネルまたは Windows コマンド プロンプトでインストールできます。

（注）

- Hyper-V ゲスト オペレーティング システムは、Windows 用 Cisco NIC チーミング ドライバではサポートされません。
- NIC チーミング ドライバでは最大 4 チームをサポートします。

ドライバをインストールした後、ドライバ ファイル付属の **enictool.exe** コマンドライン ユーティリティを使用して NIC チーミングを設定できます。ドライバは次のチーミング モードをサポートします。

- Active-Backup（フェールバックありまたはなし）
- Active-Active（送信ロード バランシング）
- 802.3ad LACP

ドライバは次の送信ロード バランシング方式をサポートします。

- TCP 接続
- 送信元および宛先 MAC アドレス

- MAC アドレスと IP アドレス

ドライバはロード バランシング用の次のハッシュ オプションをサポートします。

- XOR ハッシュ
- CRC ハッシュ

Windows 用 NIC チーミング ドライバの取得

シスコ NIC チーミング ドライバは UCS 関連の Windows ユーティリティ ISO に含まれています。

手順

ステップ 1 Web ブラウザで、http://www.cisco.comを開きます。

ステップ 2 [Support] で [All Downloads] をクリックします。

ステップ 3 製品選択で [Products] をクリックし、さらに [Unified Computing and Servers] をクリックします。

ステップ 4 入力を求められたら、Cisco.com のユーザ名およびパスワードを入力して、ログインします。
UCS ドライバをダウンロードするには、サインインする必要があります。

ステップ 5 プラットフォームに応じて、[Cisco UCS B-Series Blade Server Software]、[Cisco UCS C-Series Rack-Mount UCS-Managed Server Software]、または [Cisco UCS M-Series Modular Server Software] を選択します。

ステップ 6 Unified Computing System (UCS) ユーティリティをクリックし、Windows プラットフォームを選択します。

ステップ 7 ダウンロードするリリースのリンクをクリックします。
デフォルトでは最新のリリース バージョンが選択されます。

ステップ 8 [Release Notes] リンクをクリックして、リリース ノートの最新バージョンを表示します。

ステップ 9 ダウンロード方式を選択し、ドライバのダウンロードを実行します。プロンプトに従います。

Download

ソフトウェアを即時ダウンロードします。

Add to Cart

後でダウンロードするユーティリティ ISO をカートに追加します。

次の作業

ドライバをインストールする前に *Cisco UCS* 仮想インターフェイス カード ドライバのリリース ノートを読んでください。

コントロール パネルからの NIC チーミング ドライバのインストール

手順

ステップ 1 Windows で、[Start] > [Control Panel] とクリックします。

ステップ 2 [Network and Sharing Center] を探してクリックします。
具体的な場所については、Windows サーバのマニュアルを参照してください。

ステップ 3 [Network and Sharing Center] で、[Manage Network Connections] をクリックします。

ステップ 4 [Network Connections] フォルダで、イーサネット インターフェイスを右クリックし、[Properties] を選択します。

ステップ 5 [Install] をクリックし、[Protocol] > [Add] と選択します。

ステップ 6 ドライバ ディレクトリを参照し、[OK] をクリックします。
シスコ NIC チーミング ドライバがインストールされ、イーサネットインターフェイスプロパティにリストされます。

次の作業

コマンド プロンプトで、**enictool.exe** ユーティリティを実行して、チームを作成または削除します。

コマンド プロンプトからの NIC チーミング ドライバのインストール

手順

ステップ 1 Windows で、管理者権限でコマンド プロンプトを開きます。

ステップ 2 コマンド プロンプトで、**enictool -p** *"drivers_directory"* と入力します。
シスコ NIC チーミング ドライバは指定したディレクトリにある .inf ファイルを使用してインストールされます。

例：
次に、一時ディレクトリにある .inf ファイルを使用してチーミング ドライバをインストールする例を示します。

```
C:\> enictool -p "c:\temp"
```

次の作業

チームを作成および削除するには、**enictool.exe** ユーティリティを使用します。

enictool.exe を使用した NIC チーミング ドライバの設定

手順

ステップ 1 Windows で、管理者権限でコマンド プロンプトを開きます。

ステップ 2 チームを作成するには、「**enictool -c** *"list of connections"***-m** *mode*」と入力します。
モード オプションは、次のとおりです。

- 1：アクティブ バックアップ
- 2：アクティブ バックアップ（アクティブ モードへのフェールバック）
- 3：アクティブ アクティブ（送信ロード バランシング）
- 4：802.3ad LACP

例：
この例では、アクティブ バックアップ モードで 2 枚の NIC のチームを作成します。

```
C:\> enictool -c "Local Area Connection" "Local Area Connection 2" -m 1
```

ステップ 3 チームを削除するには、「**enictool -d** *"name of the NIC team"*」と入力します。

例：
この例では、「Local Area Connection 3」という名前のチームを削除します。

```
C:\> enictool -d "Local Area Connection 3"
```

（注） 「Local Area Connection 3」は、NIC チームの名前で、個々のアダプタの名前ではありません。

ステップ 4 追加オプションと使用方法についての情報を表示するには、次のように入力します。 **enictool /?**
ロード バランシング方式、ロード バランシング ハッシュ方式、およびその他のオプションを設定するには、表示されたコマンド オプションの情報を使用します。

iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのインストール

はじめる前に

Microsoft iSCSI サービスが実行されていることを確認します。

iSCSI vNIC がサービス プロファイルで定義されていることを確認します。

手順

ステップ 1 cisco.com から適切なドライバ ISO ファイルをダウンロードします。

ステップ 2 CSCO_VIO_INSTALLER_64_3.5.8.msi ファイルをマウントし、抽出します。

ステップ 3 Windows で CSCO_VIO_INSTALLER_64_3.5.8.msi ファイルを実行します。

ステップ 4 VIO インストーラで、[VIC iSCSI dump] を選択し、次に [Next] を選択します。

ステップ 5 サーバをリブートします。

sNIC ドライバの初回インストール

Windows は新しくインストールされたデバイスを検出し、「Found New Hardware with SAS Controller」というメッセージを表示します。**Found New Hardware ウィザード**で、新しくインストールしたデバイスに対してデバイス ドライバのインストールを開始します。

重要 sNIC ドライバをサポートしているのは Windows 2012 以降のバージョンだけです。

手順

ステップ 1 [Install from a list or specific location (Advanced)] を選択し、[Next] をクリックします。

ステップ 2 [Search for the best driver in these locations] を選択します。

ステップ 3 [Include this location in the search:] を選択します。

ステップ 4 ドライバ ディレクトリへのパスを入力し、[Next] をクリックします。

ステップ 5 [Next] をクリックし、**Found New Hardware ウィザード**を完了します。

ステップ 6 Windows が次のメッセージを表示した場合は、[Yes] をクリックし、コンピュータを再起動します。`System Settings Change.Windows has finished installing a new devices.The software that supports your device requires that you restart your computer.You must restart your computer before the new settings will take effect.Do you want to restart your computer now?`

ステップ 7 起動時に選択を求めるメッセージが表示されず、Windows Server 2012 によって新しく追加した VIC-SNIC 用のドライバがインストールされる場合は、既存の sNIC ドライバのアップグレード,（17 ページ）を参照してください。

既存の sNIC ドライバのアップグレード

更新された sNIC ドライバのバージョンをインストールできます。

手順

ステップ 1 [My Computer] を右クリックします。

ステップ 2 [Manage] をクリックします。

ステップ 3 [Device Manager] を選択します。

ステップ 4 [Storage controllers] を選択して展開します。

ステップ 5 デバイス リストの [Cisco VIC-SNIC Adapter] を右クリックします。

ステップ 6 [Upgrade] を選択し、**Hardware Update ウィザード**を開始します。

ステップ 7 [Install from a list or specific location (Advanced)] を選択し、[Next] をクリックします。

ステップ 8 [Don't search] を選択します。[I will choose the driver to install.] を選択し、[Next] をクリックします。

ステップ 9 [Have Disk...] をクリックします。

ステップ 10 ドライバ ディレクトリへのパスを入力し、[OK] をクリックします。

ステップ 11 **Hardware Update ウィザード**または [Select a Device Driver] ダイアログボックスが開いたら、[Next] をクリックします。

ステップ 12 **Hardware Update ウィザード**で、[Finish] をクリックします。

第 3 章

Cisco UCS VIC ドライバのアンインストール

この章の内容は、次のとおりです。

- Windows ドライバのアンインストール，19 ページ
- NIC チーミング ドライバのアンインストール，20 ページ
- iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのアンインストール，20 ページ
- sNIC ドライバのロールバック，21 ページ
- sNIC ドライバの削除，21 ページ

Windows ドライバのアンインストール

手順

ステップ 1 デバイス マネージャを起動します。

a) [My Computer] を右クリックします。

b) [Manage] を選択します。

c) [Device Manager] を選択します。

ステップ 2 アダプタを展開します。

- eNIC ドライバでは、[Network Adapters] を展開します。
- fNIC ドライバについては、[Storage Controllers] を展開します。

ステップ 3 [Devices] リストで、アダプタを右クリックし、[Uninstall] を選択します。

- eNIC ドライバでは、[Cisco VIC Ethernet Interface] を右クリックします。
- fNIC ドライバでは、[Cisco VIC FCoE Storport Miniport] を右クリックします。

ステップ 4 [Confirm Device Removal] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

NIC チーミング ドライバのアンインストール

手順

ステップ 1 Windows で、管理者権限でコマンド プロンプトを開きます。

ステップ 2 コマンド プロンプトで、次のように入力します。 **enictool -u**
シスコ NIC チーミング ドライバがアンインストールされます。

iSCSI のクラッシュ ダンプ ドライバのアンインストール

手順

ステップ 1 管理者権限でコマンド プロンプトを開きます。

ステップ 2 iSCSI クラッシュ ダンプ ドライバ ユーティリティを使用して iSCSI クラッシュ ダンプ ドライバをアンインストールするには、次のコマンドを入力します。
edumputil -u.

ステップ 3 ホストをリブートします。

sNIC ドライバのロールバック

手順

ステップ 1 [My Computer] を右クリックします。
ステップ 2 [Manage] をクリックします。
ステップ 3 [Device Manager] を選択します。
ステップ 4 デバイスを選択して右クリックします。
ステップ 5 [Properties] を選択し、[Driver] をクリックします。
ステップ 6 [Driver] ダイアログボックスで、[Rollback driver] をクリックします。

sNIC ドライバの削除

手順

ステップ 1 [My Computer] を右クリックします。
ステップ 2 [Manage] をクリックします。
ステップ 3 [Device Manager] を選択します。
ステップ 4 [Storage controllers] を選択して展開します。
ステップ 5 デバイス リストの [Cisco VIC-SNIC Adapter] を右クリックします。
ステップ 6 [Uninstall] を選択します。
ステップ 7 [Confirm Device Removal] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。